

北海道バプテスト連合ニュース

全道にキリストの光を!

2014年3月発行 No. 101

発行者 西島啓喜 編集者 齋藤 隆

発行所 〒080-0809 帯広市東9条南8丁目1-3

帯広バプテスト・キリスト教会内

http://hokkaidobap.jimdo.com pw:jbc1947

巻頭言

ビッグなプレゼント ～AKIKO 基金贈られる～

北海道バプテスト連合 会長 西島啓喜（帯広教会）

1997年に「タニアキコ記念基金が北海道の伝道のために捧げられる」、というニュースが掲載されました。しかし、それ以来この件についての情報はありませんでした。ハワイ・オリベット教会の渡辺牧人牧師に調査を依頼したものの、情報が無いままに最近に至りました。ところが思いがけず昨年末、宣教団から北海道連合の受け皿の確認のメールがあり、今年の1月、ついに宣教団、日本バプテスト連盟経由で約260万円の基金が北海道連合に送金されてきました。

「タニアキコ記念基金」とは、千歳基地の米軍の軍人のご家族がアメリカに帰国した後に「北海道の伝道に役立ててほしい」と信託して下さったものです。連合ニュース62号（1997年）から要約すると、

「ハワイ在住のシルバerson大佐夫妻が北海道伝道に役立てる「タニアキコ記念基金」を創立されました。ご夫妻の死後、信託基金が毎年北海道連合に配分されます。ご夫妻はこの地区に於ける伝道に大きな重荷を感じておられます。この基金はきっと豊かに祝福されて用いられるものと信じます。」

ディビッドM コールマン、マークエドランド

北海道連合の年間協力伝道献金額を上回るこの献金とその背景にあるご夫妻の意思を私達はどのように受け止めたらいいでしょうか？私は連合に大きなチャレンジが与えられたのではないかと考えています。

振り返ってみると、1952年から10年ほどの間に連盟主導で9つの教会が設立され、1971年から20年ほどは連合開拓伝道として4つの教会が生み出されました。しかし1990年前後に函館美原とオーブンドアが伝道を

開始したのを最後に、四半世紀北海道の開拓伝道の動きが途絶えています。この背景には、各教会の体力が落ちてきたことや、一時期、約半数の教会が無牧師になって、なかなか外に目を向ける余裕がなくなっていた、という現状があるのではないのでしょうか。

しかし、そのような状況でも、札幌教会で新規開拓伝道の話合いがなされたり、北見で集会が持たれたり、苫小牧でもビジョンが語られたりと開拓伝道の模索が始まっています。私はこの「タニアキコ記念基金」により「いつまでグズグズしているのだ」、と神様から叱咤激励されているように感じます。役員会では、新年度「北海道のこれからの伝道を考える宣教会議（仮称）」を開催することを検討しています。今から良き示しが与えられるようお祈りをお願い致します。

「その響きは全地にあまねく、その言葉は世界の果てにまで及ぶ。」（詩19：4）

●大変お世話になりました

室蘭教会牧師 齋藤 隆

この3月2日の主日礼拝・主の晩餐式執行のご奉仕をもって室蘭教会牧師を辞任します。室蘭教会にご奉仕して満8年になります。体力の衰え、手足のしびれなどにより、冬の雪かき・夏場の草取りなどが困難、寒さが強く身に伝えるようになったことが主な理由です。教



がなされます。内容は極秘ですので、私たちにも明かされませんが、きっと豊かな時間なのでしょう。戻って来た方々の顔を見れば一目瞭然です(笑)

そのように、そこに集う一人ひとりにとって大切な時間

となっています。連合の皆様と神様とに、心よりの感謝を申し上げます。

(文責：石橋大輔)

●少年少女春の修養会



3月26日(水)から28日(金)まで函館教会を会場に少年少女春の修養会が行われました。今回のテーマは「世界宣教～パン屑を集める働き」(ヨハネ6:13)、講師は日高龍子牧師で全道から17名の少年少女と13名のスタッフが参加しました。

講演の内容は、日高先生がこれまで宣教師として携わってこられたタイ宣教のお話でした。児童福祉施設やバイブルキャンプでは、現場で奉仕されている方、また見えない所で奉仕されている方、と様々な方が奉仕されていますが、皆さんイエスキスさまから思いを与えられてとても喜びながら奉仕をされている方々です。お話の中では、そうしたお働きにある兄弟姉妹を「五つのパンと二匹の魚」でパンを差し出した少年と照らし合わせ、私たちも人々の声に耳を傾け(痛みの共有)、憐れみの心をもって自分を差し出したいね、というメッセージをいただきました。小さなものでも、その気持ちを喜んでさらに大きく用いてくださるのがイエスキスさまです。分団でも「共有の大切さを感じた」「自分も何か差し出したい」といった感想が多かったです。個人的には、日高先生がおっしゃった「あ、今日イエスキスさまに思いを与えられたかも、と思ったら躊躇せずに素直に回答してみよう」という言葉が心に響きました。

そして、今回も豪華なプログラムでした。元気な賛美、美味しいお食事、絶えない笑顔、素晴らしい出会い&交流の数々。昨年に引き続き設けられた「少年少女の時間」では伝言ゲー

ム、ジェスチャーゲーム、聖書早開きなどで大いに盛り上がりましたし、赤レンガ倉庫を散策して函館を満喫したほか、函館名物のラッキーピエロに入ったり(帯広組は合計三回)、帰ってきたあとは日高先生伝授のタイ式マッサージでリフレッシュ等々。また、「隣人に出会う旅」の報告会ではそれぞれの旅で与えられた恵みに思いを馳せることができ感謝でした。

「この三日間で美味しくいただいて余ったパン屑を、籠いっぱいを持ち帰って、お腹が空いたときまた食べようよ。教会の人や、まわりにお腹が空いている人がいれば、分けてあげましょう」(派遣礼拝より)私にとっては最後の修養会となりましたが、とても祝福された三日間でした。”パン”を提供してくださった各教会、連合、函館教会の皆様、参加者・先生方・スタッフの方々、そして主に心から感謝します。一人一人が持ち帰ったパン屑を通して一人でも多くの方がお腹いっぱいになれるように。コップンカー(ありがとう)!

文責：川嶋ほさな

●連合青年会の修養会

連合青年会は3月21(金)～22(土)、札幌教会を会場に修養会を持ちました。今回の講師は日高龍子牧師(平岡ジョイフル)で、テーマは「伝道」ということで有意義な時を持ちました。参加者は青年9名、他2名(計11名)でした。

武田 増満(リビング希望教会)



2014年 北海道バプテスト連合 定期総会案内

いつも連合のためにお祈りとお支えを心から感謝いたします。以下のように2014年度定期総会を招集いたします。祈りつつご準備ください。なお、代議員登録その他の詳細は別紙にてご確認ください。

連合会長 西島 啓喜

日 時 2014年4月29日(火) 9:30～15:30

会 場 札幌バプテスト教会・礼拝堂

総会牧師 佐々木 俊一 牧師

議長団 議長 田森 茂基 氏、副議長 小林 俊一 氏

代議員 各教会3名以内(連合規約12条)

旅費補助 代議員の旅費を補助します。宿泊費補助の対象は、函館、函館美原、釧路、帯広、連合役員、議長・副議長です。

- 議 案
- ① 連合副会長交代の経過報告
 - ② 2013年度活動報告
 - ③ 2013年度決算報告および監査報告
 - ④ 2014年度活動計画
 - ⑤ 2014年度予算
 - ⑥ 2015～2016年度連合役員改選
 - ⑦ 2015年度定期総会日程および会場
 - ⑧ 次期総会役員選出
 - ⑨ その他

教勢報告 各教会20部印刷して総会当日ご持参ください。当日、冊子にして各教会に配布させていただきます。総会に欠席される場合は、4月26日(土)までに書記(田代・苫小牧 教会)まで、教勢報告をご送付ください。「主な行事」は、その教会独自のプログラムなど、連合の諸教会で分かち合いたいと思われる行事などをお書きください。「祈りの課題」は、与えられた幻や取り組みなどをご自由にご記入いただき、連合諸教会で分かち合っていきたいと思っております。

♪連合総会プログラム♪

- 9時半～ 各会
- 10時半～ 開会礼拝
- 11時～ 議事1(報告)
- 12時半～ 昼食
- 13:15～ 議事2(計画)
- 15時～ 閉会礼拝

※本年は議事に先立ち、各会の総会時間を確保しました。
ぜひこの時間から出席をお願い致します。